

第七十回帝國議會  
衆議院

國民健康保險法案外二件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案

國民健康保險法案(政府提出)  
保健所法案(政府提出)  
結核豫防法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十二年三月十九日(金曜日)午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事武知 勇記君 理事青木 亮貫君

理事喜多壯一郎君 理事立川 太郎君

理事三善 信房君

寺島 權藏君

土屋清三郎君

渡邊 鏡藏君

岡田喜久治君

門田 新松君

小笠原八十美君

田中 好君

犬養 健君

山口 久吉君

北 勝太郎君

田中 養達君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 河原田稼吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 挾間 茂君

社會局長官 廣瀬 久忠君  
社會局部長 清水 玄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民健康保險法案(政府提出)

保健所法案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ開會致シマス——

土屋清三郎君

○土屋委員 昨日御催促申上ゲテ置キマシ

タ資料ハ參リマシタデセウカ

○廣瀨政府委員 此間御請求ノ資料ハ、ソ

レゾレ係ノ方デ集メテ居リマスカラ、早速

御手許ヘ差出スコトニ致シマス

○土屋委員 直キ參リマスカ

○廣瀨政府委員 今催促致シテ居リマス

○土屋委員 今少シ事務的ノコトデ質問シ

タイト思ヒマスガ、文部省ノ政府委員ニ御

出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、次官ガ都合惡

ケレバ專門學務局長ト體育課長デ宜イノデ

スガ——小學校ノ衛生ニ關スル問題ヲ御尋

シタイノデス

○添田委員長 宜シウゴザイマス、言ウテ

置キマセウ

○土屋委員 其間ニ昨日一寸漏レタ點ヲ御

同致シマスガ、此保健所ニハ產婆ヲ置キマ

スカ

○挾間政府委員 產婆ハ置キマセヌ

○土屋委員 助産ニ關スル指導ハ誰ガヤリ

マスカ

○挾間政府委員 助産モ含メマシテ、妊婦、

產婦ニ關スル指導ニ付キマシテハ、公衆衛

生看護婦ト云フノガ三人、ソレノ資格等ニ

付テハマダ詳細ナ定メテ致シテ居リマセヌ

ケレドモ、公衆衛生看護婦ハ妊婦、產婦、

兒童ノ保護等ニ付テノ相當ノ修練ヲ積ンダ

者ヲ配置スル考デアリマス、之ニ依ッテ或ル

程度マデ指導スルコトガ出來ルト思ヒマス

○土屋委員 公衆衛生看護婦ノ習得ヲシタ

ル學問ト產婆ノ學問トハ違フデヤナイカ、

助産ニ關スル限リ產婆ハ之ヲ専門トスル者

デアル、其助産ニ關スル指導ヲ一項目トシ

テ掲ゲナガラ、產婆ヲ除外シテ變態的ナ衛

生看護婦ヲ以テ、之ニ當ラセヨウト云フノ

ハ、ドウ云フ御趣旨デアリマスカ

○挾間政府委員 度々申上ゲマシタ通り保

健所ハ指導ノ機關デゴザイマシテ、醫療ヲ

爲シ、或ハ醫療ト大體同様ナ助産ノ行爲ト

云フヤウナコトハ、保健所トシテハ致サナ

イ積リデアリマス、專ラ指導ニ當ル譯デゴ

ザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○土屋委員 私ガ伺ッテ居ルノハ助産ヲス

ルコトデヤナイノデス、妊娠、分娩及ビ乳

兒哺育ニ關スル知識ハ、是ハ產婆ノ専門ト

スル所デアル、ソレデアリマスカラ、其指

導ニ當ルベキモノハヤハリ產婆ガ一番適當

デナケレバナラス、又公衆衛生看護婦ノ科

目ノ中ニ助産ニ關スル教科ハナイ筈デア

ル、其知識ナクシテ、サウシテ人ヲ指導ス

ルト云フコトハ、是ハ間違ッテ居リハシナイ

カ

○挾間政府委員 土屋委員ノ御意見ハ私一

寸受取リ兼ネルノデゴザイマスガ、公衆衛

生看護婦ト云フモノハ制度ノ上デ決ッタモ

ノデハゴザイマセヌ、此度吾々公衆衛生看

護婦ト云フ名前ヲ付ケテ居ルダケデアリマ

シテ、妊婦、產婦ノ指導等ニ付キマシテハ

十分講習等ヲ致シマシテ、又本人モ研究ヲ

シマシテ、指導ノ出來ルヤウニ致シタイ積

リデゴザイマス

○土屋委員 助産ニ關スル知識ハ御承知ノ

通り相當ノ科目ト、内容ト、ソレカラ修練

トヲ要スルモノデアリマス、ソレヲ公衆衛

生看護婦デソレマデアルト云フコトハ、是

ハ實際不可能デアリマス、何故産婆ト云フ

制度ヲ設ケテ、醫者ト同ジヤウニ地方ニ普

及スルヤウニシテ居リナガラ、其産婆ヲ度

外シテ看護婦ニヤラセルノデアルカ、ソレ

ハ妊産婦ハ土地ノ産婆ニ掛リマセウ、或ハ

掛ラヌ者モアリマセウ、併シ助産ノ學問及

ビ經驗ノナイ所ノ衛生看護婦ヲシテ指導サ

セルト云フト、實際土地ニ居テ自然ニ指導

ヲ受ケテ居ル産婆ヨリモ、其専門ノ知識ノ

缺ケテ居ル者ニ指導ニ當ラセルト云フコト

ハ、意味ヲナサナイノデアリマス、ドウモ

私ハ其點ガ分リマセヌガ、産婆ヲドウシテ

モ入レナカッタト云フ理由ハ、今アナタノ御

説明デハドウモ私分ラヌ

○**挾間政府委員** 入レナカッタ事由ト申シ

マス、一ツハ財政上ノ問題モゴザイマス、

アツクニ越シタコトハナイト思ヒマスガ、將

來或ハ考ヘルコトガアルカモ知レマセヌ、

差當ッテノ問題トシマシテハ、醫師ト公衆衛

生看護婦ト云フヤウナモノニ依リマシテ指

導ヲ致ス積リデゴザイマス、御心配ノ點ニ

付キマシテハ十分講習會等ニ於キマシテ、

イマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○**土屋委員** 只今ノ衛生局長ノ御答辯ハ、

段々私分ラナクナリマスガ、サウスルト若

シ妊産婦ガ農村ニ於テハ産婆カラ色々話ヲ

聽ク、今度保健所ノ衛生看護婦ガ又話ヲシ

テ、サウシテソレガ矛盾シテ居タラバ一體

ドチヲ採ルコトニナリマスカ、指導機關

ガ甚ダ庶民ヲ惑ハスト云フコトニナリハシ

マセヌカ

○**挾間政府委員** 左様ナコトハナイト考ヘ

マス、又公衆衛生看護婦ノ中ニハ産婆ノ免狀

ヲ取ッテ居ル者モアルガラウト思ヒマスシ、

サウ東ト西ト、右ト左ト云フ風ニ指導ノ方

針ガ——同ジ問題ニ付キマシテ學問ヲシ、

又經驗ヲ積ンダ者デアリマスカラ、サウ云

フコトハナク、お互ニ同様ノ方向ニ向ッテ巧

ク指導シテ行ケルガラウト私共ハ考ヘテ居

リマス

○**土屋委員** 是レ以上申上ゲルコトハ止メ

マシテ、唯私茲デ伺ヒタイノハ、サウシマ

スルト、今政府ノ考ハ、産婆ト云フモノハ

看護婦ヲシテ代行シ得ラレルモノト云フ御

見解デアリマスカ

○**挾間政府委員** 左様ニハ考ヘテ居リマセ

ヌ、併シ保健所ノ仕事ハ産婆其モノデハナ

必要ナ知識ヲ公衆衛生看護婦ガ修得致シマ

シテ、サウシテ其上デ指導スルト云フコト

ニナルト思ヒマス、只今御話ノヤウナコト

ハ考ヘテハ居ナイノデアリマス

○**土屋委員** ナゼ之ヲ私伺フカト申シマス

ト、産婆制度ニ付テハ今二ツノ流レガアル、

御承知ノ通り歐羅巴各國皆産婆ヲ拵ヘテ、

サウシテ町村ニ醫師ト産婆ハ必ズ配備シ

テ、醫者ニ對シテハ健康相談及ビ治療ニ當

ラセル、産婆ニ對シテハ妊産婦及ビ嬰兒ノ

保育ニ當ラセル、殆ド皆サウデアリマス、

然ルニ亞米利加ニ於テハ産婆ト云フモノハ

或州ニ於テハ産婆ノ制度ガアル、併シ大部

分ハ産婆ノ制度ガナイ、ソレデ醫者ト看護

婦デ事ヲヤッテ居ル、恐ラク衛生局長ノ御説

明ハ大分御苦シイ御答辯デスガ、保健所ト

云フモノハ恐ラク亞米利加ノ「ヘルス・セン

ター」ノ制度ヲ其儘翻譯サレテ御採用ニナッ

タカラシテ、亞米利加デヤッテ居ラナイ所ノ

産婆ト云フモノヲ忘レテシマッテ、サウシテ

公衆衛生看護婦ト云フ中性ノモノヲ之ニ當

ラスヤウニナッタノデハナイカ、私ハ本當ニ

助産ニ關スル指導ヲスルナラバ、ヤハリチ

ヤント産婆ノ學問ヲ修メテ、サウシテ或ル

年限ノ間相當ノ専門醫ノ人ニ就イテ、又澤

レルガ當然ダと思フ、只今財政上ノ理由デ

云々ト申サレマシタガ、保健所ガ一人ノ産

婆ヲ雇フノニ今日財政ノコトヲ云々サレル

必要ハナイ、折角御實行ニナルニ付テハ、

是非一ツ御考慮ニナッテ御採用ニナルノガ、

保健所ノ機能ヲ十分ニ發揮スル上ニ於テ必

要ダト、斯ウ考ヘルノデアリマス

ソレカラ今ノ話ガ、他ニ飛ビマスガ、國

民健康保險ノ、地方ニ於ケル監督機關ハ縣

ノ衛生課デアルノデアリマスカ、或ハ社會

課デアルノデアリマスカ

○**廣瀨政府委員** 國民健康保險ノ指導並ニ

獎勵ニ關スル事務ハ、社會課ヲシテ之ニ當

ラシムル積リデアリマス、勿論色々衛生課

トモ關係ヲ持ッテ居ルデアリマセウガ、主管

ト致シマシテハ社會課ヲ以テ其衝ニ當ラセ

ル積リデアリマス

○**土屋委員** サウシマス各府縣ニ配置ス

ル所ノ技師モ、ヤハリ社會課ニ置クコトニ

ナルノデスカ

○**廣瀨政府委員** 健康保險ノ仕事ニ關シマ

シテ、衛生ノ技師ヲ配置致シマスガ、是ハ

社會課ニ置キマシテ、サウシテ其仕事ニ當

ラシメル見込デアリマス

○**土屋委員** 現在ドウカ知リマセヌガ、數

年前各府縣ニ於テ慥カ救護法ノ主管ヲ見マ

スルト云フト、或ル縣ニ於テハ衛生課デヤッ  
テ居ル、或縣ニ於テハ社會課デヤッテ居ル、  
色々區々ニナッテ居ッテ、其間ニ絶エズ衛生  
課ノ所管デアル所ノ警察部ト、社會課ノ所  
管デアル所ノ學務部トノ間ニ紛糾ガアッ  
コトヲ承リマシタガ、今日モヤハリサウ云  
フ風ニ別々ニナッテ居リマスカ、或ハ中央ニ  
於テ社會局ノ系統ニ屬スルモノハ、總テ地  
方ニ於テ社會課デアルト云フノデアリマス  
カ、或ハ社會課ニ關スル仕事デアッテモ、事  
衛生ニ關スルモノハ衛生課ニ於テ之ヲ監督  
スルト云フコトガ適當デヤナイカト思フノ  
デスガ、此點ハドウデスカ

○廣瀨政府委員 先程御例示ニナリマシタ  
救護法ノコトデアリマスガ、是ハ今日ハ皆  
社會課デ致シテ居リマス、救護法ノコトハ  
御承知ノヤウニ一般生活ニ關スル救護モア  
リマスルシ、衛生ノ事モアリマス、衛生ノ  
事ナドニ付キマシテハ、ヤハリ衛生課ノ方  
ノ技師ニ或ハ社會課ノ方ノ兼務モシテ貰フ  
ト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、今日ハ社  
會課デ救護法ノ仕事ヲ致シテ居リマス、ソ  
レカラ尙ホ社會局ノ仕事ハ總テ社會課デヤ  
ルト云フコトデハナイノデアリマシテ、ソ  
レハヤハリ社會局ノ所管ノコトデモ或ルモ  
ノハ警察部デヤッテ居ルモノモアリマスル

シ、或ルモノハ又學務部デヤッテ居ルモノモ  
アル、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス

○土屋委員 内務大臣ガ御出席ニナリマシ  
タカラ、内務大臣ニ御尋致シマスガ、内務  
大臣ハ我國ガ泰西ノ文明制度ヲ取入レマシ  
タ結果、短日月ノ間ニ有ユル方面ニ於テ非  
常ナ進歩的ノ施設ヲ見マシタ、殊ニ衛生方  
面ニ於テ、醫學ノ進歩ト云フモノハ今日世  
界ノ何レノ國ニ比シテモ遜色ガアリマセヌ、  
日本ノ學者ニ依ッテ發見サレタ所ノ世界的  
ノ業績ハ澤山アル、ソレ迄ニナッテ居ルニ拘  
ラズ此醫療普及ノ制度ガ、今日マデ他ノ何  
レノ制度ヨリモ非常ニ遅レテ居ッタ原因ヲ  
ドウ云フ風ニ御觀察ニナリマスカ

○河原田國務大臣 日本ノ醫學ガ非常ニ驚  
クベキ進歩ヲシテ居ルト云フコトハ、今仰  
セノ通りデアリマスガ、醫療制度モ、實ハ  
私ガ細カイコトヲゴテノ申上ゲルト却テ  
間違ヘルカモ知レマセヌガ、詳細ノコトハ  
何レ衛生局長カラ御答致サセマスガ、大體  
觀察ハ、兎モ角御一新以來七十年バカリ經ッ  
テ居ル間ノ狀況トシテハ、私ハヤハリ醫療  
制度ト云フモノハ、其年限ノ割合ニ急速ノ  
進歩ヲシタモノデハナイカ、斯ウ大體的ニ  
觀察ヲ致シテ居リマス

○土屋委員 ソレデハモット具體的ニ申上

ゲテ伺ヒマスガ、歐羅巴ヲ見マシテモ、亞  
米利加ヲ見マシテモ、今日國民ノ多數ハ社  
會事情、經濟事情ニ餘儀ナクサレテ、段々  
生活ガ困難ニナッテ來ル、ソレカラ一方醫學  
ハドンノ進ンデ來テ、以前ノヤウニ簡單  
ナ藥ヤナンカデハイケナイ、診察ヲスルニ  
モ相當ノ設備、色々ナ器械ヲ必要トスルシ、  
治療ヲスルニ當ッテモヤハリ同様デアル、今  
日戰爭ニ有ユル科學的ノ知識ガ綜合的ニ用  
ヒラレルト同ジヤウニ、今日ノ醫學ト云フ  
モノハ有ユル進歩シタル科學ガ綜合シテ用  
ヒラレテ居ル、隨テ實際此醫學ノ進歩シタ  
其通りニ醫術ヲヤラウトスルト、中々費用  
ガ掛ル、ソレデアリマスカラ、醫者ノ費用  
ト云フモノハ昔ト違ッテ非常ニ高クナッテ來  
テ居ル、ソコデ一般ノ人ノ醫療ニ對スル負  
擔能力ト、醫師ノ醫療ニ使フ費用、言換ヘ  
レバ醫師ガ求メナケレバナラヌ所ノ報酬ノ  
間ニ非常ナ差額ガ出來テ來タ、茲ニ醫療ト  
云フモノヲ昔ノ通りニ自由ニ放任シテ置ク  
コトガ出來ナクナッテ、其處ニ公ノ溫イ手ガ  
兩方カラ、主トシテ進歩シタル醫術ト困窮  
シテ居ル所ノ患者ノ手ヲ握ラセナケレバナ  
ラヌ、ソレガ歐羅巴殊ニ獨逸デハ御承知ノ  
通り社會保險ガ出來マシテカラモウ殆ド四  
十年ニナル、ソレハドウシテモサウ云フ風

ニナラナケレバナナイ事情デアリマス、  
何故ナラバ醫者ハ金ヲ取ラナケレバ治療ヲ  
シナイ、個人主義デアリ、總テ現金主義デ  
アル、サウ云フ制度ガ早クカラ向フニ行ハ  
レテ來タニ拘ラズ、有ユル歐羅巴ノ制度ガ  
採用サレテ居ル我國ニ於テ、今日マデ此制  
度ガ布カレズシテ、大衆醫療ガ放任サレテ  
來タノハ一體ドウデアルカ、其遲レタノハ  
ドウデアルカ、私ハ是ハ何ト申シマシテモ、  
以前カラノ醫者ノ氣風ト云フモノガ殘ッテ  
居ル、ヤハリ醫ハ仁術デアル、困ッテ居ル者  
ノ爲ニハヤラナケレバナナイト云フ考ガ  
多數ノ醫者ノ頭ノ中ニ殘ッテ居ル、ソレデア  
リマスカラ、今日救護法ガ出來マシテモ、  
濟生會ガ出來マシテモ、多數ノ醫者ハ困ル  
者ニハ、ソナナ負擔トカ何トカ云フコト無  
シニ、自分デ治療ヲヤッテ居ル、ソレカラ醫  
師會自體モ施療規定ト云フモノヲ設ケテ、  
會員ニソレノ義務ヲ負ハシテ、貧困者ニ  
對シテハ治療ヲ只デヤラシテ居ル、此美風  
ガアレバコソ私ハ我が日本ニ於テ今日マデ  
國家ノ手ヲ加ヘズシテ、ドウヤラ斯ウヤラ  
ヤッテ來タンデハナイカト思フ、所ガ之ヲ段  
段壞シテ來タモノガ政府デアリ、官僚デア  
ルト私ハ思フ、先年東京ニ於テ、今カラ二  
十幾年前亡クナッタ所ノ加藤時次郎氏ガ、鈴

本梅四郎氏ト提携シテ、實費診療所ト云フモノヲ拵ヘタ、此始ツタ動機ハ大臣御承知デアリマセウガ、アノ幸徳事件一派ノ後デ、是ハ政府ノ高等政策デアッタノデアリマスケレドモ、當時醫師會ノ人達ハ折角醫師ガ報酬規定ト云フモノヲ設ケテ、相當ノ資力ノアル者カラ其規定ニ依ッテ報酬ヲ取ル、負擔ニ耐ヘナイ者ニ向ッテハ施療規定ニ依ッテ皆ガ施療スルコトニナツテ居ッタ、所ガサウ云フ實費診療所ガ出來テ、一日ノ藥價六錢デヤルト云フヤウナ宣傳ヲドシ／＼ヤッテ來タ、ソコデ醫師會ハ斯ウ云フ風ニナルト云フト、吾々開業醫ガ當然取ルベキ負擔能力ノアル患者マデ取レナイコトニナツテ、サウシテ貧民ニ對シテ施療スル餘裕ガナクナルノデアアル、ドウカ斯ウ云フ制度ハ、吾々醫師ガ今日マデ社會ニ奉仕シテ來テ居ル其點ヲ考慮シテ、斯ウ云フコトハ將來許サナイヤウニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ陳情ヲシタ所ガ、時ノ内務當局ハ、一體醫者ガ自分ノ權利ト云フコトヲ忘レテ居ル、成程諸君ハ現金デ金ヲ取ラナクテ、未拂ニナルモノガ三割ナリ四割ナリアルト言フガ、醫師ガ報酬ヲ取ルト云フコトハ日本ノ民法ニ於テチャント認メラレテ居ルノデアッテ、一定ノ期間内ニ請求スレバ裁判所ニ訴ヘテデモ

ズ取レルノデアアル、其請求權ヲ行使セズシテ、サウシテ彼此レ言フト云フコトハ、權利思想ニ乏シイ舊時代ノ考デアアル、斯ウ云フコトヲ言ハレタ爲ニ、當時醫師社會ニ非常ナ衝撃ヲ與ヘタコトガアル、恐ラク斯ウ云フ考ハ今尙ホ政府ノ中ニ殘ッテ居ルノデハナイカ、其考デ出テ來タモノガ即チ此健康保險デアアル、何デモカシテモ安クヤレバソレデ宜イト云フヤウナ考デアアル、兎ニ角日本ノ開業醫ト云フモノハ昔カラノ習慣デ、ソコマデノコトヲヤッテ來テ居リマスカラ、救護法ガナクとも、又救護法ガ出來テモ、其豫算ガ極メテ僅カデアルニ拘ラズ、多數ノ細民ガ醫師ノ施療ヲ受ケテ居ル、又醫師會モ進ンデ其會規ノ中ニ施療ニ關スルコトノ規定ヲ設ケテ、開業シテヤラセテ來テ居ルカラ、歐洲ニ於ケルヤウナ酷イ社會問題ガ起ラズニ今日マデ進ンデ來タンダラウ、今度政府ガ斯ウ云フ案ヲヤルヤウニナリマスト、ドウセ是デ見ルト中々十分ト云フ譯ニハ行カナイ、サウスレバ政府ハ何處迄モ全國ノ開業醫ガ、今日マデ昔カラノ思想其儘ヲ殘シテ社會ニ奉仕シテ來テ居ッタ其功績ヲ回顧シテ、將來トモ此美風ヲ存シテ行クト云フコトハ非常ニ必要デアラウ、其爲ニハ内務大臣ハ此點ヲ十分ニ諒解サレ

テ、總テ施療ニ關スル公ノ施設ニ付テハ醫師會ヲ指導シ、醫師會ヲ利用シ、醫師會ト提携シテヤルベキデアルト思フノデアリマスケレドモ、今度ノ此問題ニ付テハ、大體ノ案ガ生レル迄ノ間ハ度々醫師會ト交渉シテ、相談ヲ進メナガラ、又大臣ガ醫師會ノ總會ニ出テ近ク國民健康保險法案ヲ出スカラシテ、此實施ニ付テハ本會ノ十分ナル協力ヲ要望スルト云フコトヲ、演説ヲシテ居リナガラ、愈々今度内閣ガ選ッテ、大臣ガ選ッテ、サウシテ此案ガ具體化シテ議會ニ出ルヤウニナルト、全く其方ト絶縁シタ形ニナツテ、醫師會ト協議ノ間ニ作ッタ内容ヲ變ヘテシマツテ、今ノ案ヲ御出シニナツタ、サウシテ議會ニ斯ウ云フ摩擦ヲ生ジサセルヤウニナツタコトハ、圓滿且ツ寛容ヲ以テ知ラレテ居ル現内務大臣ノ下ニ於テ執ラレタ行爲トシテハ、私ハ洵ニ千慮ノ一失デハナカッタカト思フノデアリマス、此點ニ付テ内務大臣ハ此國民全體ニ施療ヲ普及シヨウトスル此劃期的制度ヲ確立スルニ當ッテ、進ンデ昨年マデノ公約ニ基キテ醫師會ト協力スル御意思ガオアリニナライカドウカ

○河原田國務大臣 只今土屋サンガ御述ニナリマシタヤウニ、我國ノ開業醫ト云フモノハ長イ間ノ沿革ニ依ッテ一種ノ美風ヲ持ッテ居ル、又社會醫療ノ上ニ於テ、若クハ社會衛生ノ上ニ於テ非常ナ功績ガアル、隨ヒマシテ、其開業醫ノ團體デアアル醫師會モ亦社會公共ノ爲ニ非常ニ盡サレテ居ルト云フコトハ、私度々申述ベタ通りデアリマス、而シテ今日ノヤウナ所謂醫ハ仁術ナリト云フヤウナ考ヘ方ハ、ヤハリ私ハ長ク保存シ、維持スルコトガ宜イト思フ、何事モ總テ世ノ中ノ事ヲ權利義務ダケデ決定シテ行クト云フコトハ面白クナイ、ソコニ人間ノ溫カ味ト云フモノモナクナルカラ、西洋のニ人間ノ關係ト云フモノハ萬事權利義務ダト云フヤウナ、個人主義的ノ思想デ以テ世ノ中ヲ律スルコトハ餘リ面白クナイ、サラバト言ッテ、文明ガ進ムニ從ッテ色々社會事情ト云フモノガ複雑ニナルノデアリマスカラ、昔ノヤウニ、唯情誼一通リダケデモ行キ惡イ、ソコニハ自ラ權利義務ヲ以テ解決シナケレバナラヌコトモ多々アリマス、例ヘバ工場關係デモ、昔ハ主人ト徒弟ト云フヤウナ關係デ工業ガ行ハレタノデアアルガ、是亦事業ガ非常ニ擴張サレ、大キナ工場ト云フヤウナコトニナレバ、ヤハリ西洋のナ工場法ノ規定トカ、サウ云フ規律ヲ以テヤッテ行カナケレバナリマセヌガ、其間ニヤハリ人情味、溫情的ノ考ヘ方ト云フモノガ維持サル

ベキモノデアルト私ハ思フノデアリマス、デアリマスカラ、開業醫諸君ノ所謂醫ハ仁術ナリト云フヤウナ考ヘ方ハ、長ク私ハ維持シテ行キタイト思ヒマス、又其美風が相當殘ッテ居ルコトハ洵ニ御同慶ニ堪ヘマセヌガ、併シ世ノ中ガ複雑ニナリマス、人口モ多クナルシ、萬事ヲ昔ノヤウナ考ヘ方ダケデアッテ行クト云フコトハ出來惡イ、輕費診療、或ハ無料診療ト云フコトヲ何時マデモ希望シテ居ルト云フコトモ中々困難デアル、又世ノ中ニハ全クノ貧困者ト云フモノト、ソレカラマアドウニカ暮シテ居ルケレドモ、病氣ニナッタラ心配ダト云フ階級ノ人モ段々ト出テ來テ居ル、昔ト違ッテ世ノ中ガ複雑デアリマスカラ、サウ云フ中産以下ノヤウナ人、極貧者ニアラズ、而モ中産階級以下デアッテ其日ヲ自分ノ働キデ暮シテ居ルヤウナ人ハ、是ハサウ無料診療所ヘ出掛ケテ行ッテ恩惠ニ浴スルト云フコトモ、其人ノ誇ヲ傷ケルコトデアリマスカラ、ソコニヤハリ自分ノ誇ヲ傷ケズ、而モ病氣ニナッタ時ニハ安心シテ掛レルト云フヤウナ制度ガ出來テ行クコトガ必要デアル、之ニ對シテ國家ガ之ヲ助長スルコトハ必要デアル、ソコデ所謂社會保險ノ制度ト云フモノガ段段生レテ來タモノト私ハ思フノデアリマス

ガ、其間ニ唯西洋のデナク、ソコニ人情味ヲ加味シテ圓滿、圓滑ニ行クト云フコトニハ私ハ少シモ異議ガナク、ソレハ最モ必要ナコト、思フノデアリマス、デアリマスカラ、將來ト雖モヤハリ開業醫諸君ト、國民健康保險組合トハ圓滑ニ行クコトヲ最モ希望致シマス、圓滑ニ行クコトヲ希望スル趣旨カラ、大體ニ於テ現在ノヤウナ案ガ出來上ッタコト、思フノデアリマス

ソレカラ醫師會トノ關係ニ於テ、本案ヲ作ル上ニ於テ内務省トシテハ、從來ノヤウニ、ヤハリ開業醫諸君ト十分ニ圓滑ナル關係ヲ維持スルト云フコトニハ少シモ異議ハナイ、隨ヒマシテ、度々私が申上デマスヤウニ、社會保險調査會ニ於テモ、ソレノ醫師會側ノ權威者ヲ網羅シテ居リ、サウシテアレハ私がマダ任ニ就カヌ前デアリマスガ、可ナリノ論究ヲ重ネラレタト思フノデアリマス、サウシテア、云フ案ガ出來上ッタ、唯問題ハ何時モ問題ニナル第九條ノ問題デアリマシテ、是ハ成程社會保險調査會ニ掛ケテ、一ツノ案ガ出來タ後ニ入ッタモノデアリマスガ、是ハ案全體ニハ大シタ問題デハナイ、是ハ度々申上ゲルヤウニ、根幹ニ關スルモノデモナイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ、當時ノ内務當局

モヤハリサウ云フ意味ニ於テ加ヘタ、斯ウ云フコト、思フノデアリマス、之ニ依ッテ全部醫師會ト云フモノヲ蔑視シタト云フ意味デハ私ハナイ、ソレデ甚ダ醫師會トノ圓滑ヲ缺クデヤナイカト云フヤウナ御話デアリマスガ、内務省カラ言ハセルト、更ニ大キナ大會ヲ度々開イテ内務省ノ攻撃ヲヤルト云フヤウナコトハ、寧ロ考ヘ方ニ依ッテハ、アチラサンノ方カラ内務省ノ攻撃ヲ始メタト、斯ウモ言ヘルノデヤナイカト、斯ウ思フヤウナ譯デアリマシテ、是ハ唯一ツノ餘談トシテ御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ内務省トシテハ醫師會ト共ニ大イニ鬭ッテ行クトカ、左様ナ意味ハ少シモナイ、唯是ナリト信ズル所ヲ主張シテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、其邊ノ所ハ一ツ御諒承ヲ願ヒマス

○土屋委員 サウシマス、今ノ九條ノ問題デスガ、是ハ實ハ昨日私社會局長官ニ伺ッタノデアリマスガ、ドウモ要領ヲ得ナイ、ソレハ斯ウ云フコトナノデアリマス、

是ハ大臣御承知デアルカドウカ、十五日ノ産業組合ノ大會デ、賀川豐彦君、此方ハ私ハ御目ニ懸リマセスガ、實ニ立派ナ社會事業ヲヤッテ居ル知名ノ御方デアリ、サウシテ現ニ内務省ノ社會保險調査會ノ委員デア

ラレルサウデアリマスガ、此方ガ其大會ノ席ニ於テ既成ノ健康保險ニ對スル保險醫ヲ散々ニ罵倒シタ學句ニ、國民健康保險法案ト云フモノハ吾々ガ草案シテ拵ヘタモノデアッテ、之ヲ馬場藏相ニ見セタ所ガ、藏相ハ是ハ保險ニハナッテ居ナイ、組合デハナイカ、斯ウ云フカラ、ソコデ實ハ是ハ産業組合ニヤラセタラドウカト思フ、斯ウ言ッタ所ガ藏相ハ、成程ソレナラバヤレルダラウ、斯ウ言ハレテ賛成ヲサレタノデ、ソレデ内務省ノ社會局ノ若手連中ニ私カラ話シタ所ガ、ソレナラ是非一ツ其事ヲ内務大臣ニ話シテ貰ヒタイト云フコトデアッタ、内務大臣ニ話シタ所ガ、大臣ハ早速賛成セラレテ、産業組合ハ農林大臣ノ所管デアルカラト云フノデ、内務大臣カラ農林大臣ニ話シタ、其結果此第九條ノ案ガ挿入サレルコトニナッタノデアル、斯ウ云フ御演說ヲ爲サレタサウデアリマス、詰リ此話ニ依ルト、ドウモ以前ノ儘デハ保險ニナッテ居ナイ、組合デアアル、是デハ結局出來ナイデヤナイカト云ウテ、大藏大臣ハ賛成ヲシナイ、大藏大臣ガ賛成ヲシナケレバ、豫算ガ取レナイカラシテ、是ガ成立シナイカラ、大藏大臣ノ産業組合ニヤラセルナラソレハ宜カラウト言ッタ、ソレヲ採ッテ、サウシテ内務大臣

カラ農林大臣ニ御交渉ニナツタ、其結果是ガ出タヤウニ取レルノデアリマス、賀川サンノ御話ガ、アノ人ハ眞面目ナ話ヲ爲サルヤウニ聞イテ居リマスガ、アノ人ノ話ノ通りデアレバ、ドウモ動機ガサウ云フ風デアルヤウニ思ヒマス、サウデナイナラバ、先達來カラ御話ガアリマスガ、ドウシテ此産業組合ヲ入レルヤウニナツタカ、私ハ未ダニ

ハッキリシナイ、産業組合ガ大會ヲ開イテ此案ニ對スル態度ヲ決定サレテ、吾々ノ所ニ來タノト、内務大臣ガ此九條ニ付テノ説明ハ全然違フ、内務大臣ノ説明ノ通りニ依ルト、産業組合ノ方トハ全然關係ガナイヤウデアル、賀川サンノ話ヲ聞クト、ドウモ斯ウ云フ裏面ノコトカラ出來タヤウニ思ハレル、是ハ一ツハッキリシテ置イタ方ガ吾々ガ

此案ニ對スル所ノ態度ヲ決定スルニモ必要ダト思ヒマスカラ、簡單ニ御答ヲ願ヒタイ

○河原田國務大臣 私ハ御承知ノ通り、二月ノ初ニ其任ニ就キマシテ、サウ云フ経緯ハ全然知リマセヌ、賀川サンハ立派ナ人デアリマスガ、是ハ外部ノ人デアリマス、結局ハ私初メ内務省ノ當局ガ此處デ申上ゲテ居ルコトヲ前提ニシテ、ドウゾ一ツ其方ニ重キヲ置イテ御考ヘ願ヒタイ、外部ノ人ガドウ言ヒマセウトモ、ソレハ吾々ノ關知ス

ル所デナイ、斯ウ申上ゲルヨリ外仕方ガアリマセヌ

○土屋委員 サウスルト前大臣カラ事務引繼ノ際ニ其事ハナカッタト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○河原田國務大臣 何モゴザイマセヌデシタ

○土屋委員 醫療利用組合ニ付テ色々御話ガアリマシタ、其中ニ現在二百カ三百アル中、成績ノ良イモノガ二十近クト云フ話ハ、先達テ以來澤山ゴザイマシタガ、此成績ノ良イト云フノハ何ヲ根據ニ爲サッタノデアリマスカ

○河原田國務大臣 是ハ一ツ政府委員カラ申上ゲマス

○添田委員長 一寸土屋君ニ御協議シマ스가、内務大臣ハ貴族院ノ豫算總會ノ方カラ呼びニ來テ大變急イデ居ラレルノデスガ、ソコデ門田君ハ内務大臣ノ御出席中ニ簡單ニ一ツ質問シタイト云フ御希望ガアルヤウデアリマス、ソレデ今政府委員ノ方ニアナタノ御質問ガ移ツタヤウデスカラ、此際ドウデセウ、一寸門田君ニ許シタナラバ……

○土屋委員 今門田君ノ話ハ承リマシタ、是ハ一番重大ナ點デアリマスシ、善イカ悪イカト云フコトハ一言デ分ルコトデアリマ

スカラ、ソレニ依ッテ更ニ内務大臣ニ此點ヲ御尋スル積リデアリマスカラ、ドウゾ此後ニ直グ門田君ノ御質問ヲ許サレルヤウニ願ヒマス

○廣瀨政府委員 此間カラ申上ゲテ居リマスヤウニ、私ノ方デ代行ヲ致サセマスニハ色々條件ガアリマス、ソレハ成績ガ相當ニ良クテ、サウシテ色々方面ヨリ見テ事業ノ經營ニ付テモ圓滑ニ行ケル見込ト云フコトヲ條件ト致シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ各種ノ條件カラ見マシテ、先ヅ二十位ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、成績ノ良イト云フコトハ是ハ實際ノ問題デアリマスカラ、ヤハリ赤字ニナッテ居ラナイ、ソレカラ事業ノ經營モ良ク行ッテ居ルト云フコトヲ見テノ話デアリマス

○土屋委員 要スルニ赤字デアルト云フコトガ主タル要件ノヤウニ聞エマスガ、サウデアリマスカ、宜シウゴザイマスカ

○廣瀨政府委員 黒字デアルト云フコトモ一ツノ要件デアリマスガ、ヤハリ全體ノ事業ノ成績ノ良イト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

○土屋委員 内務大臣ニ私伺ヒマスガ、此國民健康保險制度ヲ能ク見マスルト、醫療給付ト申シマシテモ、醫者ハ近所ノ人ヲ囑

託スルノデアリマス、結果ハ醫療ノ費用ヲ患者ニ代ッテ支拂ヲ良クシテヤルト云フ制度ノヤウニ承知シテ居リマスガ、宜シウゴザイマスカ

○河原田國務大臣 是ハ私ガ度々申シマスヤウニ、醫療ノ機會ヲ成ベク得セシムル、一般ノ庶民階級ノ人ニ醫療ノ機會ヲ得セシムルト云フコトガ主眼デアリマシテ、隨ヒマシテ今マデ容易ニ得ラレナイ、自然ト醫者ノ治療費ト云フモノハ自分一人デ掛ル場合ニハ非常ニ支拂ガ困難デアルケレドモ、斯ウヤッテ組合デオ互ニ保險のニ行ケバ安易ニ掛ラレル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ御醫者サンノ方カラ言ヘバ、從來掛ラナカッタ人モ掛リ易クナルト思ヒマスカラ、自然ト患者ニシテ御醫者ニ掛ル人ガ殖エテ行クデアラウカラ、今マデ滯ッテ居ッタヤウナモノモ組合トシテ共同責任デアリマスカラ、ヤハリ滯リモマゾナクナリマス、隨テ御醫者サンニ取ッテモ收入ニ安定ヲ得ヤセヌカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

○土屋委員 先達テ來度々利用組合ノ成績ノ善イ惡イト云フコトノ中心ハ、主トシテ黒字デアルト云フコトガ基礎ニナッテ居ッタヤウニズット承知シマシタ、ソレデ今念ヲ押

シタノデアリマスガ、ソコデ此觀念ガ今度ノ國民健康保險制度實施ノ上ニ一貫サレルト云フコトニナリマスルト云フト、私ハ是ハ重大ナ問題ダト思ヒマス、一體醫療ト云フモノハ、今日開業醫ガ普通ニ規定ニ依ッテ取ツテ居ル所デモ實際足ラナイノデス、況ンヤソレヨリモ安クシテ居ル所ノ國民健康保險ガドウ云フ狀態デヤラレルカト云フコトハ、本當ニ其内容ヲ考ヘルト云フト、吾々ハ實ニ心配ニ堪ヘナイ、現ニ私ノ最モ懸念ニシテ居ッタ所ノデアリマスガ、精神病院ヲ經營シテ居リマス、精神病院經營者トシテ本當ニヤラウトスルト、ドウシテモ赤字デス、是ハ精神病院バカリデナク、普通ノ醫者モサウデス、本當ニ能ク病人ノ爲ニヤラウトスレバ中々今日黒字ニハ行カヌ、赤字ニナル、赤字ニナルノガ當リ前ナンデス、ソレデアリマスカラシテ、眞面目ニ能クヤル所ノ醫者ハ皆困ッテ居ル、ソレヲ此政府ハ黒字デアルモノガ成績ガ良イヤウニ醫療組合ヲ見テ居ルト云フコトハ、其半面ニ於テ全ク醫療ト云フモノヲ商賣ト考ヘテ居ル、「バランス」ガ探レテ黒字ニナリサヘスレバソレデ成績ガ良イ、斯ウ考ヘルト云フコトハ、結局醫療ト云フモノヲ病ヲ癒スニアラズシテ、醫者ヲシテ病人ニ觸ラセル

ダケダト云フ結果ニナル、病ハソレデハ癒ラナイ、サウ言フト、ソシナコトヲ言ッテモ癒ルト言フカモ知レマセヌガ、病ノ大部分ト云フモノハ自然ニ癒ル「ヒボクラテス」モ言ッタイウニ、醫ハ自然ノ臣僕ナリ、多クノ病氣ト云フモノハ或ル期間ニ於テ自然ニ癒ルノデアアル、醫者ガ癒シタト云フ譯ニハ行カナイ、唯醫者ハ自然ノ臣僕トシテ、二週間スレバ癒ル所ヲ、一週間カ或ハ三日デ癒スト云フニ過ギナイ、死ヌ病人ハ死ンデシマフ譯デアアルカラシテ、醫療ノ目的ト云フモノニ於テ病ヲ癒スコトヲ根本ニ置カナケレバナラヌ、所ガ政府ガ健康保險實施以來一貫シタル觀念ハ、實費診療以來ズット同ジコトデアッテ、病氣ノ治療ト云フモノヲ考ヘナイデ、醫者ニ唯觸ラセサヘスレバ宜イヤウニ考ヘテ居ル、是デハ病人ハ救ハレナイ、ソレバカリデナク、此制度ヲ段々ニ吟味シテ行キマスルト云フト、百八十日以上ハ健康保險ニ準ジテヤラナイト云フヤウニ考ヘラレル、長イ間病床ニ就ク者コソ最モ救ヒノ手ヲ待ッテ居ル所ノ者デアアル、短イ間ノ者ハ救ハレテ、長イ間病床ニアル者ハ中途デ打切ラレテ、救護法カ何カノ方ニ行ケト云フヤウナコトデアレバ、折角此相互扶助ノ精神デヤラレタモノガ其目的ヲ達セ

ラレヌヤウナコトニナル、其上ニ此案ハ創立ガ任意デアアル、加入モ任意デアリマスルカラシテ、貧村デハ容易ニ出來ナイ、其上ニ昨日御話ヲ聽キマス——以前内務省デ作ラレタ最初ノ案デハ、毎年全國デ五六百個組合ヲ設ケテ、サウシテ二十年ヲ以テ全國ニ普及スル積リデアアル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、昨日ノ御説明ニ依リマス、十年位ニシテ當初ノ豫定ノ五千二百萬バカリノ中ノ約半分ノ二千五百萬人バカリヲヤッテ見テ、後ハ其後ノ模様ニシヨウト云フコトデアアル、今日國民ノ大部分ガ醫療ニ關スル救ヒノ手ヲ求メテ居ルコトハ、大臣ガ本會ニ於テ説明セラレタ通り全ク焦眉ノ急ニ迫ッテ居ルノデアアル、然ルニ國民ノ大部分ニ醫療ヲ普及サセヨウトスル其制度ガ、十年モ二十年モ掛ラナケレバ一通り行渡ラナイト云フノデハ洵ニ心細イデハナイカ、其原因ガ若シ財政關係ニアルナラバ、政府ハ此制度ヲ國民生活安定ノ一斷面トシテ設ケラレタト云フコトデアリマスルカラシテ、生活安定ト云フ聖澤ニ浴スルコトニ付テハ、國民總テ均等ニ機會ヲ與ヘラレナケレバナラナイ、此制度ヲ私ハ決シテ良イトハ考ヘマセヌ、良イトハ考ヘマセヌガ、政府ハ慈善ノ意味デ之ヲ採ルト云フコトデ

アレバ、思切ッテ短時日ノ間ニ全國ニ之ヲ普及シテ、庶民ヲシテ齊シク醫療ノ恩惠ニ浴セシメル機會ヲ與ヘルヤウニスルコトガ必要デハナイカ、此點ニ付テ内務大臣カラ率直ナ御意見ヲ承リタイ

**○河原田國務大臣** 速ニ全國民ヲシテ醫療ノ機會ヲ得ルヤウニ致サシメヨト云フコトニ付キマシテハ、私ハ全ク御同感デアリマス、去リナガラ私ガ申スマデモナク世ノ中ノ國民ハ多種多樣デアリマシテ、又政治ノ上カラ言ヒマシテモ色々ナ事ヲシナケレバナラヌ、例ヘバ今日ハ度々本會議、其他ニ於テ政府トシテ示サレテ居ルヤウニ國防ト云フコトヲ先ヅ考ヘナケレバナラヌ、國防ノ爲ニハ國民ガ相當ノ金ヲ出シテ費用ヲ負擔シナケレバナラヌ、生活安定モ固ヨリ必要デアリマスガ、ヤハリ一方ニ於テ國防ト云フ事モ考ヘナケレバナラヌ、ソレカラ又片方ノ生活安定ニ關スル諸方策ニ關シマシテモ、衛生問題ト云フモノモ亦非常ニ必要デアルケレドモ、一方ニ於テハ又產業ノ興隆ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、結局ハソレノ國民ノ働キニ依ル租税、其他ニ依ッテ之ヲ支辨シナケレバナラヌノデアリマスカラ、總テ斯ウ云フ問題ガ速ニ解決セラレルコトヲ希

望スルコトハ山々デハアリマスケレドモ、ヤハリ私ガ申スマデモナク、政治行政ナント云フモノハ、總テノ點ヲ考察シテ之ヲ綜合シテヤッテ行クヨリ仕方ガナイ、例ヘバ

是モ亦餘談デアリマシテ洵ニ恐縮デアリマスガ、先般モ貴族院ノ豫算總會アトリデ或ル非常ナ熱心ナ方ハ、砂防ト云フコトガ一番大切デアル、今日水害ノ損害ト云フモノ

ハ年ニ何億圓アル、早ク此砂防ヲヤリサヘスレバ此何億圓ノ損害ト云フモノハ抑ヘラレル、是ハ全國ヤレバ三億圓位掛カルダラ

ウ、三億圓掛ケテ全國ヤッテシマヘバ一番國民生活ノ安定ヲ期セラレルデヤナイカ、斯

ウ云フ御意見ガアツタノデアリマス、是ハ御尤ナ御意見デアリマシテ、其通りデアリマス、サウ云フ風ニヤリタイコトハ山々デア

リマスガ、是ハヤハリ國民ガ負擔シナケレバナラヌノデアリマシテ、財政ト云フコト

モ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、漸ヲ逐ウテヤル、斯ウ云フコトヨリ外仕様

事ニハ御堪能デアリマスカラ、釋迦ニ說法デ甚ダ恐縮デアリマスガ、ドウゾサウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

ソレカラ又黒字ノ問題デアリマスガ、醫療組合ノ成績ガ良イト云フノハ、從來是ハ赤字ノモノヲ救済スル處置デハナイカト云

フヤウナ御話ガ往々ニシテ出マシタノデ、イヤサウデヤナイ、國民健康保險組合ト云

フモノガヤハリ根幹デアルノダカラ、何處何處マデモ健康保險組合ト云フモノヲ骨子

トシテ行ク、唯現在アルモノヲ——現在ト云フコトハ多少私ノ言葉ガ惡イカモ知レマ

セヌガ、現在ヤッテ居ルモノデ成績ノ良イモノ、黒字ト云フコトハ——是ハ私

バカリデハナイ、政府委員カラモ申上ゲテ居リマスヤウニ一ツノ條件デアリマセウ

ガ、成績ノ良イモノハ是ハ認メテ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、黒字

ガ其認メルカドウカト云フコトノ全部デナイコトハ、度々政府委員カラ申上ゲテ居ル

通りト思ヒマス

○土屋委員 内務大臣ノ御話ヲ承ッテ私ハ全ク御同情ヲ申上ゲル、詰リ此溫イ政治ノ

手ヲ總テノ大衆ノ上ニ與ヘタイ、併シ此醫療バカリガ國ノ焦眉ノ制度デハナイ、國防

其他各方面ニ於テ色々ナ必要ナコトガアル、結局國ノ財政ガ之ヲ許サザルガ爲ニ已

ムヲ得ズ斯ウ云フコトニ行クノダ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデアルカラ私ハ本

會議デモ内務大臣ニ御相談申上ゲタ、何故今マデノ様ニ醫師會ト手ヲ握ッテ、サウシ

テ之ヲ利用シテ、五萬ノ醫者ノ奉公心ニ懇ヘテ、政府ノ財力ノ足ラザル所ヲ補フヤウ

ニシナイカ、本會議其他ニ於ケル御答辯ヲ見ルト云フト、被保險者ニ於テ一部負擔ヲ

スルノハ濫診濫療ヲ豫防スル爲デアル、斯ウ云フコトデアリマス、言換レバ濫リニ診

察ヲ受ケ、濫リニ治療ヲ受ケルコトヲ防グ意味デアル、斯ウ云フコトヲ申サレマシタ

ガ、私ハ此點ニ付テハ全ク見解ヲ異ニシテ居ル、誰デモ少シデモ工合ガ惡カッタ直

グニ飛ンデ行ッテ醫者ニ診テ貰フ機會ヲ與ヘナケレバナラヌ、サウスルコトガ病ヲ未

然ニ防ギ、又病氣ヲ早ク治療スル所以デア

ル、之ニ反シテ無暗ニ治療ヲ受ケ、無暗ニ

藥ヲ飲マスト云フコトハ宜クナイ、今日ノ

一番ノ缺點ハ醫者ニ診テ貰ヘバ必ズ藥ヲ飲

マナケレバナラヌト云フ病人ノ考デアル

ガ、サウアツテハイケナイ、醫者ニハ何時

デモ自由ニ掛レルヤウニスルガ、藥ヲ飲ム

必要ノナイ者ハ養生法ダケデ行クヤウニス

ルガ宜イ、ソコデドウシテモ診察料ヲ持ッ

テ行カナケレバ、醫者ニ診察ヲ受ケラレナ

イト云フヤウナ制度ハ宜クナイ、診察ダケ

ハ何時デモ、ドノ醫者ニデモ自由ニ手ブラ

デ行ッテ診テ貰フコトニスルノガ、最モ好

マシイ制度デアル、ソレニハ金ガ要ルト云

フコトデアレバ、内務大臣ハ圓滿福徳ナ御

相貌ヲ持ッテ居ラレル、丁度日本醫師會長

モサウ云フ顔デスカラ、一ツ膝ヲ交ヘテ懇

談ヲシテ、實ハ政府ハ是ダケノコトヲヤラ

ウトスルノデアルケレドモ、金ガ足ラナ

イ、ドウカ被保險者デアラウト、ナカラウ

ト同ジ日本國民デアル以上ハ、診察ヲ受ケ

タイト云フ場合ニハ、五萬ノ會員ガ奉公心

ヲ以テ診察ダケハ只デシテ貰フヤウニシテ

呉レマイカ、現ニ醫師會ノ方デハ政府ノ爲

サントシテ爲シ得ザル所ノ病勢調査ニ對シ

テモ、政府ガ財政ノ窮乏デ出來ナイト云フ

コトヲ豫見シテ、醫師會員自ラガ多額ノ金

ヲ使ッテ全國的ニ昨午病勢調査ヲヤッタト云

フコトヲ聞イテ居ルノデアリマシテ、モウ

一步進ンデサウ云フ風ニシテ貰ヒタイ、サ

ウシテ吾々ノ國民健康保險制度ノ足ラザル

所ヲ醫師會ノ手デ補ヒ、將來財政ノ都合デ

是ガ全國ニ普及スルヤウニナッタナラバ、完

全ニ治療ノ方ニ於テモ諸君ト協力シテヤル

コトガ出來ル、サウシテ官民協力シテ、此

長イ間ノ庶民大衆ノ醫療普及ノ問題ヲ解決シタイ、斯ウ出タナラバ、私ハ必ズ欣然トシテ全國五萬ノ醫師會員ハ之ニ應ズルデアラウト思フ、其事ガ私ハ望マシイ、蓋シ醫師會ガ此國民健康保險法制定ニ當ッテ、政府ト契約シテ協力シテヤリタイト云フコトヲ強ク主張サレルノハ、決シテ自己ノ利害バカリデハアリマセヌ、醫師會其モノハ利益ヲ得ル組合デハナイ、醫事衛生ノ進歩ニ對シテ國家ニ貢獻スルコトヲ目的トスル公法人デアアル、政府ハ今此全國民ニ醫療ヲ普及シヨウトスル劃期的制度ヲ施行シヨウトスルノデアアルカラシテ、是ト協力シテ、是ト提携シテ、其目的ヲ十分ニ達成サセヨウト云フ爲ニ進ンデ契約ヲ主張スルコトハ、是ハ私ハ當然デアルト思フ、唯之ヲ勞働組合等ノ如ク組合員ノ利益ヲ保護スルモノ、如クニ考ヘ、是ト契約スルコトハ勞働組合ニ對スル團體契約權ヲ認メルト同ジデアアルガ如ニ見ラレルコトハ、醫師會ノ公法人タル其性質ト、勞働組合トヲ混同スルモノデアッテ、私ハ間違ッテ居ハシナイカト思フ、ドウカ此點ニ付テ內務大臣ノ率直ナル、本當ニ輝ヲ取ッテ裸ニナツタ所ノ話ヲ承リタイ

○河原田國務大臣 私ハ從來カラ私ノ率直

ナル意見ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、醫師會ノ從來ノ功績竝ニ將來トモヤハリ手ヲ携ヘテヤッテ行クト云フコトノ必要ハ認メテ居リマス、圓滿ニ聯携シテヤッテ行クト云フコトノ適當デアルト云フコトニハ、何等ノ異議ハナイ、唯私ガ申上ゲマシヤウニ、醫師會ト云フ團體ト、團體契約ヲヤル、其團體契約ヲヤルト云フコトガイカヌト言フノデハアリマセヌ、寧ロ此健康保險組合ニ於キマシテモ、廣ク醫師選擇ノ自由ヲ與ヘルヤウニシヨウト云フコトヲ省令カ何カデ規定シヨウト云フ所マデ行ッテ居ルノデアリマスカラ、自ラ團體契約ガ行ハレルデアラウト云フコトハ想像シ得ルト思フ、唯法規ニ於テ醫師會ト必ズ團體契約ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、非常ニ此組合ノ本旨デアアル組合ノ自治的ノ働キト云フモノヲ阻碍スル、如何ナル理由デソコ迄ヤラナケレバナラヌカト云フコトニ私ハ非常ナ疑問ヲ持ツノデアリマス

ソレカラ又是ハ一般的ノ問題ニナリマスケレドモ、我國ニ於キマシテハ、大體ニ於テ總テ契約自由ノ原則ガ民法ニ行ハレテ居ッテ、是ガ所謂私法ノ根本ヲ成シテ居ルノデアリマス、此原則ヲ破ッテマデモ、此原則ノ例外ヲ作ッテマデモ、所謂團體契約ト

云フヤウナ特例ヲ作ル理由ガ立たヌ、却テソレガ爲ニ餘リ總テヲ膠著シタヤウナ立場ニ置クト、ソコニ自ラ種々ナル面倒ガ生ジテ來ルト云フヤウナコトヲ考ヘマスカラ、私ハ團體契約ニハ反對スルノデヤナイ、團體契約ヲスルコトニハ少シモ異議ハナイ、併ナガラ團體契約ヲ法規ヲ以テ強制スルコトハイカヌ、斯ウ云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス

○土屋委員 マダ私ハ內務大臣ニ對スル質問ガアリマスガ、貴族院ノ方ヲ御急ギノヤウデアリマスルシ、又門田委員モ先刻來ズト御待チニナッテ居リマスカラ、此際門田君ニ御質問ヲ願ヒマシテ、內務大臣ニ對スル私ノ第二ノ質問ハ後ニ保留致シマス

○添田委員長 門田君此際發言ヲ許シマス

○門田委員 本國民健康保險法案ハ、多年渴仰シテ居リマシタ國民ノ要望ヲ容レタ社會立法トシテ、委員諸君モ總テ賛成シテ居ラレルヤウデアリマス、私モ亦諸君ニ劣ラザル賛成者ノ一人デアリマス、唯條文ノ一部ニ付テ、從來行ハレテ居リマス健康保險ノ例ニ倣ッテ、日本醫師會ト契約スルコトノ可否、今一ツハ懸テ共通ノ組合ヲ以テ組織サレルト云フコトニナル運命ニ置カレテ居ル

産業組合ニ對スル反感ト、支持ト斯ウ云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ委員諸君全體ガ此時勢ニ適應シタ社會立法ヲ提議シ、或ハ審議未了ニ終ラシメルト云フヤウナ考ハ一人モ御持チニナッテ居ラヌト私ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ私ハ本案ト現ニ行ハレテ居リマスル健康保險法ト比較對照致シマシテハ、政府ノ本案ニ對スル保護給付ガ不公平デアルト思フノデアリマス、ソレハ現在ノ健康保險法ニ於キマシテハ政府ノ給付ガ被保險者ノ保險給付費ノ一割、但シ一人ニ付キ年二圓以內トナッテ居ルノデアリマス、ソレガ本法ヲ見マスルト、最初ノ二箇年ガ年一人ニ付テ一圓以內、次ノ二箇年ガ七十錢以內、五年目カラ五十錢以內トナッテ居ルノデアリマス、假ニ之ヲ比率デ示シマスト現行健康保險法ノ最初ガ二分ノ一デ、五年目カラ四分ノ一ニ減少スルノデアリマス、唯現行保險法ハ工場ノ勞働者トカ、或ハ鑛山ノ勞働者トカ、運輸ニ當ッテ居ル者トカニ限ラレテ居リマスルカラ、此人々ハ疾病ニ罹リ、或ハ傷害ヲ受ケ易イトカ斯ウ云フコトカラ見マスルト、是カラ比較致シマスルト、今回ノ比率ヲ御定メニナツタト云フコトヲ幾ラカ増額シテモ宜イヤウニ思フノデアリマ

スガ、併ナガラ私ノ信ヅル所ニ依リマス  
ト、社會立法ハ負擔力ニ重キヲ置カレナケ  
レバナラスト思フノデアリマス、現在勞働  
者ノ收入ト、而シテ農山村ノ人々ノ收入ト  
ヲ比較致シマスルト、ソレハ較ベモノニナ  
ラナイノデアリマス、而シテ假令同額デア  
リマシテモ、寧ロ現在ノ被保險者ニナッテ  
居ル人々ノ收入カラ比較スルト、ソレデモ  
苦痛デアル、斯ウ云フコトニナルノデアリ  
マス、唯現行法ヲ最初御定メニナル當時ハ  
一箇年ノ疾病若クハ傷害休業日數ガ十八日  
乃至二十日ト云フコトヲ標準ニ置カレタヤ  
ウデアリマシタガ、今デハソレガ三十四日  
餘ニナッテ居ルノデアリマス、併シソレハ勞  
働時間ガ増シタ爲メデモナク、或人ハ此原  
因ヲ勞働者ガ狭クナッタダ、斯ウ言ッテ居  
リマスガ、又或ル人ハ藥價ガ安インダカ  
ラ、藥ガ段々悪クナッタダ、斯ウ云フコト  
ヲ言ッテ居リマス、假ニ前者ト致シマシテ  
モ、之ヲ農山漁村ノ住民ニ斯様ナサガア  
ルノダト、斯ウ云フコトヲ考慮ニ入レラレ  
テ居ルトスレバ、是ハ甚ダ間違ッテ居ルト思  
フノデアリマス、ソコデ私ノ御尋シタイノ  
ハ現在ノ二箇年間一圓、後ノ二箇年間ガ七  
十錢、ソレカラ五十錢ニナルト云フ之ヲ改  
メテ、現在ノ健康保險法ノ給付ト同様ナモ

ノニナサル意思ガアリヤ否ヤ、私は是非ナ  
サルベキモノデアルト信ヅルガ故ニ、此事  
ヲ一應内務大臣ニ御同致シタイト思ヒマス  
○廣瀨政府委員 數字的ノコトニ關係致シ  
マスノデ、恐縮デスガ、私カラ御答申上ゲマ  
ス、現在ノ健康保險法ト今回ノ國民健康保  
險法トノ關係ニ付キマシテ、政府ノ補助ノ  
割合ガ少キニ失シハシナイカト云フ御心配  
デアリマスガ、此點ニ付テハ今マデモ色々  
御話モアッタノデアリマスガ、御承知ノヤウ  
ニ工場鑛山等ニ於テ健康保險法ガ現在行ハ  
レテ居ルノデアリマス、是ハ何ト申シマシ  
テモ傷病ノ危險率ガ非常ニ多イト云フコト  
ヲ先ヅ考ヘナケレバナナイノデアリマシ  
テ、其結果ドウシテモ保險給付ガ非常ニ高  
クナル、其爲ニヤハリ保險給付ノ一割ヲ見  
マス、二圓位ニナルノデアリマスガ、國  
民健康保險法ノ方ハドウカト申シマス、  
是ハ色々統計ニ付テ從來調べタ所ニ依リマ  
スト、大體一人當リガ四五圓デアアル、サウ  
スルト現在ノ一圓ト云フノハ是ハ二割ニナ  
ル譯ダト思ヒマス、五十錢見當ト云フコト  
ガ詰リ丁度現行健康保險法ト大體歩調ノ取  
レル一割ニ當ル譯デアリマス、四五圓ニ對  
シテ先ニ行ッテ五十錢ト云フ割合ニシヨウ  
ト思ッテ居リマスカラ、大體ソレハ權衡ヲ失

シテ居ラスノデハナイカト思ヒマス、サウ  
云フ譯デアリマスカラ、ソレハマア幾ラデ  
モ財政上ノ援助ガ餘計出來レバ結構デアリ  
マスガ、二ツノ法律ノ間ノ「バランス」ハ失  
シナイ見込デ居ルノデアリマス  
○門田委員 只今廣瀨政府委員カラノ御話  
ガアリマシタガ、今ノ大體五圓ト云フコト  
ヲ御見當ニ御付ケニナッテ、是ハ現在農山漁  
村ニハ非常ニ設備ガ不足デアアル、全部賄ヒ  
得ナイカラ、斯様ナコトガ出來ル、賄ヒ得  
ナイモノガ出來ルノデアリマスカラ、今ノ  
大體五圓ト云フ其統計ハ私自分デ斯様ナコ  
トヲ調べタコトハナイノデアリマスガ、或  
ハ見當ガ狂ッテ居ルノデハナイカト思フ、又  
同ジヤウナ率ニナサレタト云フノデアリマ  
スケレドモ、同ジ率ニシマス、負擔力ガ  
農山漁民ノ方ガ薄イノデアリマス、負擔力  
ガナイノデアリマス、私ハソレヲ同ジ率ニ  
スルト云フコトハ、負擔力ニ基礎ヲ御置キ  
ニナラナイモノデアアル、併シ斯様ナ社會立  
法ト云フモノハ負擔力ニ基礎ヲ置クト云フ  
コトガ必要ダ、同時ニ繰返シテ申上ゲマス  
ルガ、其五圓デアアルト云フコトハ、是ハ今  
マデ病人ガ貧窮ノ爲ニ醫者ニ掛リ得ナイ、  
斯ウ云フ病人ガ多クアルノデアアルカラ、斯  
ウ云フモノヲ拵ヘテ置クノダ、斯ウ云フコ

トニ依ッテ、ソレヲ今日腰ダメニ致シマシテ  
モ、モウ少シ考慮ヲ御拂ヒニナッテ、今少シ  
ク之ヲ増額スルコトガ必要ダト私ハ考ヘル  
ノデアリマス  
○河原田國務大臣 只今門田サンノ仰セラ  
レマスコトハ、私洵ニ御尤ナ點ガアルヤウ  
ニ思ヒマス、一方ニ於キマシテ大都市ニ比  
ベマス農山村ノ方ガ非常ニ生活ガ困難デア  
ル、サウ云フ負擔ノ問題、色々ナ觀點カラ  
考ヘマスレバ、只今門田サンノ仰セラレタ  
コトハ非常ニ理由ガアルヤウニ私ハ思ヒマ  
ス、唯問題ハ此際此制度ヲ成ベク早く普及  
スル方ガ宜イカ、一部分デモ手厚クスル方  
ガ宜イカ、斯ウ云フ問題ニ歸著シヤシナイ  
カト思フノデアリマス、一方ニ於テ財政ニ  
餘裕ガアリマスレバ、補助ノ率ヲ多シテ、  
而モ之ヲ普及セシムルト云フコトガ一番理  
想ト思ヒマスガ、一方ニ於テ財政ノ方面ヲ  
考ヘマスレバ、補助ノ率ガマア多少不十分  
デアッテモ、成ベク國內ニ廣ク普及スル方ガ  
宜イデヤナイカト云フ考ヘ方ガ立ツノデハ  
ナイカト思ヒマス、併シ是ハ將來ニ關スル  
問題デアリマシテ、只今ノ門田サンノ御意  
見ハ私御尤ナ點ガ多クアルヤウニ思ヒマス  
ノデ、將來是ハ十分ニ研究ヲ加ヘタイト思  
ヒマス、ソレデ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○門田委員 私満足致シマス、更ニ健康保

險組合ヲ維持シテ参リマスノニハ、相當ノ事務費ガ掛ルモノト思フノデアリマス、先日來利用組合ニ對シテ赤字、黒字ノ議論ガアリマシタガ、是ハ私共ハドウ云フコトデ黒字ニナリ、ドウ云フコトデ赤字ニナッタカ存ジマセヌガ、是ハ事務費ガ嵩ンダ爲ニ赤字ニナルトカ、或ハモウ少シ患者ノ數ガ多イダラウト思ッタノガ少カッタトカ、或ハ醫療費ヲ餘リ安クシタ爲ニ赤字ニナッタト、斯ウ云フコトデアルカ、又黒字ト云フ方ハ患者ガ存外多カッタ、事務費ヲ掛ケナカッタト云フ、斯ウ云フ風ナ——ドンナコトガ原因カ分リマセヌガ、是ハ餘程御研究ノ上ニ、赤字ト雖モ漸次指導シテ行ツテ、之ヲ無クスルト云ッタヤウナコトニシナイデ、何トカ政府トシテモ十分ニ指導爲サルヤウニ——之ヲ黒字ニシナクテモ、「プラス・マイナス」ノイクヤウニハ是非シテ欲シイト思ヒマス、又黒字ト云フコトハ此組合ニ必要ハナイト思ヒマス、「プラス・マイナス」ト云フコトガ本則ダト思フノデアリマスガ、ソコデ組合ヲ維持シマスニ付テハ、相當ノ事務費ガ要ルノデアリマス、勿論理事長トカ、理事ト云ッタヤウナ役員ハ無報酬デ差支ナイノデスガ、事務員トカ、走り廻リニ當ル

小使ニハ報酬ヲ與ヘナケレバナラスノデアリマス、組合員ノ小數ナ組合ニ於テハ、此事務費ヲ負擔スルコトガ非常ニ困難デアリマス、ヤハリ大キイ組合デモ小サイ組合デモ、組合ガ出來マスルト、自然事務員ヲ置カナケレバナラズ、小使モ置カナケレバナラス、是ガ小サイ組合デハ此負擔ガ困難ナノデアリマスガ、此狀況ニ顧ミテ、政府ハ其一部デモ補助ヲ爲サルヤウナ御積リハナイカドウカ、勿論是ハ獎勵シテ段々殖ヤシテ行クコトガ急務デアリマスガ、スルト今申上ゲタヤウナ事務費ノ不足スルト云フヤウナ結果ヲ生ズル場合ガアルガ、之ヲ負擔爲サル御意思ガアルカナイカ

○廣瀬政府委員 御話ノコトハ國民健康保

險組合ヲ作ツタ場合ニハ、ヤハリ事務費ガ掛ルカラ、事務費ニ付テ何カ考慮スル所ハナイカト云フ點ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、政府ガ健康保險法ニ對シテモ補助ヲ致シテ居リ、又今回國民健康保險法ヲ制定致シマス場合ニモ補助ヲ致スノデアリマス、是ハヤハリ其中ニ事務費モ考ヘテ居ル積リデアリマス、當初國民健康保險組合ニ於テ一人當リ一圓ノ補助ヲ出シマス、其中ノ一部ハ事務費ニ使ハレルト思フノデアリマス、併シ何ニ致セ事務費ニ多クノ金ヲ使フ

ト云フコトハ、全ク勿體ナイ話デ、是ハ此間カラ色々御話ノアッタコトデアリマスガ、ソコデ出來ル限り事務費ノ節約ヲ御願シタイ、殊ニ是ハ社會保險デアリマシテ、本當ニ隣保相扶ノ溫イ心持デアルノデアリマスカラ、お互ニ事務ニ當ル者ナドモ、其心持デ一ツ出來ル限り此方面ノ節約ヲシテ戴キタイ、政府トシテノ考ト致シマシテハ、一圓ノ補助ノ中ニ事務費ヲ含メテ居ル積リデアリマスカラ、特別ニ是レ以外ニ事務費ノコトヲ今考ヘルト云フ見込ハゴザイマセヌ

○門田委員 政府ハ來議會ニ「サラリーマ

ン」ヲ被保險者トスル特別保險法ヲ御提案ニナル御意思ガアルカドウカ、之ヲ伺ッテ見タイノデアリマスガ、私ノ考ヘマスル所ニ於キマシテモ、實施ノ上ニ於テハ相當ニ困難ヲ伴フコトハ勿論ダト思フノデアリマス、併シ都會ニ住ミマスル下級ノ「サラリーマン」ガ之ニ依ッテ救ハレルノデアリマス、健康保險法ニ於テ労働者ガ救ハレ、更ニ今回發布セラレル國民健康保險法ニ於キマシテ農山漁村民、中小商工業者ガ救ハレルノデアリマス、サウ致シマスル殘ル者ハ都會ニ住ミマス下級「サラリーマン」ノミ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、果シテ

來議會ニ此種ノ「サラリーマン」ニ對スル特別健康保險法ト云フモノヲ御出シニナルヤ否ヤト云フコトヲ御尋致シマス

○廣瀬政府委員 此職員ニ對スル健康保險

ノコトデアリマスガ、是ハ御話ノヤウニ、現在工場礦山ノ労働者ニ對シマシテハ健康保險法ガ實施サレテ十年、今回國民健康保險法ガ通過致シマスレバ、是ハヤハリ農山漁村ノ中産ノ人竝ニ都會地ニ於ケル中小商工業ノ人々ニ對スル一ツノ施設デアリマス、御話ノ通り安イ俸給取ノ諸君ニ對シテハ施設ガマダ無イ譯デアリマシテ、政府ト致シマシテハ、出來ルダケ此方面ニ努力致シマシテ、來議會ニ提案ヲ致スヤウニ努力シテ見タイト思ッテ居リマス

○門田委員 本法ノ第九條ニ對シテ、日本

醫師會員ガ之ヲ修正スルトカ、或ハ削除スルト云フコトヲ希望セラレル書面トカ若クハ電報ガ私ノ所ニ多數參ッテ居ルノデアリマス、恐ラク他ノ委員ニモ參ッテ居ルコトト信ズルノデアリマスガ、又過日來中崎委員トカ、加藤委員ノ御質問ヲ拜聽シテ居リマス、醫師ノ自尊心ヤ優越感ヲ傷ケラレルコトヲ非常ニ案ゼラレテ居ルヤウニ拜承致シマス、私トシテモ洵ニ御尤千萬ノコトト存ズルノデアリマス、世界ノ文明國ト比

較致シマシテ、毫毛遜色ノナイ我國ノ醫學、  
醫術ノ進歩發達ハ、洵ニ慶賀ニ堪ヘマセヌ  
ノミナラズ、就中屈指ノ大家ニ對シテハ、  
私ハ國寶ノ存在トシテ最高ノ敬意ヲ拂フ  
者デアリマス、唯醫者ガ患者ノ脈ヲ取り、  
打診致シマスとか、或ハ聽診器ヲ耳ニ當テ  
ル時ノ此心境ハ、精神ヲ統一シテ、無我ノ  
境地ニ立タナケレバナラヌモノト私ハ思フ  
ノデアリマス、斯クシテ初メテ正確ナ診斷  
ガ出來ルノデアリマス、苟モ邪念ガアッテハ  
相成ラヌノデアリマス、サレバこそ醫者ノ  
多クハ父母兄弟妻子ノ大患ニ當ッテハ、他ノ  
醫者ニ診療ヲ求メルノガ普通ナノデアリマ  
ス、即チ父兄トカ兄弟、妻子ニ對シテハ愛  
情ガアリマスカラ、其愛情ガ診斷ノ正確ヲ  
誤ラシメルト云フコトハ、醫者自身モ信ジ  
テ居リ、事實又サウナノデアリマス、是程  
マデニ神聖ニ近イ職業ヲ持ッテ居リマス者  
ニ、利害ノ觀念ヲ起サシメルト云フコト  
ハ、之ヲ言換ヘレバ生活ニ脅威ヲ與ヘルト  
云フコトハ、實ハ醫者ノ天職ヲ完ウセシメ  
ル所以デハナイト信ズルノデアリマス、ソ  
コデ醫者ニハ從來カラ何トハナク國民全體  
ガ社會上ノ地位ヲ與ヘテ居ル、又藥價デ利  
益ヲ貪ッテ居ルト云フコトガ分ッテ居ル場合  
ガアッテモ、國家ハ未ダニ收益稅ヲ課ケテ居

ナイノデアリマス、是ハ又當然デアリマス  
ガ、併シ若シ醫者ガ市井一般ノ商人ノ如ク、  
利害ニ重キヲ置クヤウニナッタスレバ、其  
時ハ天職ガ曇リ、汚サレルノデアリマス、  
此意味カラ致シマス、第九條ノ修正希望  
ガ若シ優越感ト云フコトノ外ニ出テ居ルト  
致シマス、洵ニ惜シムベキコト、思フノ  
デアリマスガ、政府ハ醫者ニ對シテ診療料  
ノ制度ヲ決メテ、藥價ト診療料トヲ混同セ  
シムルト云ッタヤウナコトヲ止メサセテ、モ  
ウ少シ天職ヲ全ウセシムルヤウナ方ニ持ッ  
テ行カレル途ヲ講ゼラレル案ヲ御持チニ  
ナッテ居ルカドウカ、若シ御持チニナッテ居  
ラナケレバサウ云フ風ニ考ヘテ欲シイト私  
ハ思フノデアリマス、御高見ヲ拜聽シタイ  
ト思ヒマス

○河原田國務大臣 御尋ノ重點ハ醫者ノ地  
位ヲ尊重スル上カラモ、診療ト處方箋、詰リ  
簡單ニ言ヘバ醫藥分業のナコトガ一つノ適  
當ナ方法デヤナイカ、斯ウ云フヤウニ伺ヒ  
マシタガ、其外色々ノ點モアリマセウガ、  
此點ハ日外モ私ハ申シタカト思ヒマスガ、  
一つノ考ヘ方デアリマスガ、今日開業醫ノ  
藥價ト云フ中ニハ自ラ診療料のナモノモ  
入ッテ居ルヤウナ氣味デアリマシテ、ソコニ  
日本ノ開業醫制度ノ面白味モアルノデハナ

イカ、且ツソレガ長イ間ノ傳統デモアリ、  
之ヲ急ニ壞シタリスルト云フコトハ容易ナ  
ラヌ社會上ノ問題デモアリマスシ、慎重ニ  
研究ヲシナケレバナラヌ、斯様ニ從來私ハ  
御答シテ居ルヤウニ思ヒマス、先般モ委員  
ノ方カラ御意見ガ出マシテ、斯ウ云フヤウ  
ナ醫藥制度其他ニ付テ此際適當ナ委員會デ  
モ設ケテ、十分研究シタラドウカト云フ御  
意見ガ出マシテ、是ハ私共モ洵ニ御尤ナ御  
意見ト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテサ  
ウ云フモノデモ出來マスレバ、只今門田サ  
ンノ仰セラレタヤウナ諸問題、之ヲ十分研  
究スルヤウニ致シタラ如何カト、斯様ニ存  
ジマス次第デアリマス

○門田委員 凡ソ病ヲ癒シマスノニハ、醫  
者ノ的確ナ診斷ト、適當ナ施藥トヲ必要ト  
スルノデアリマス、恰モ車ノ兩輪、鳥ノ兩翼  
ノヤウナモノデアルト思フノデアリマス、  
是ガ兩々相俟、デ茲ニ初メテ診療ノ完璧ヲ  
期スルノデアリマス、然ルニ我國デハ古來  
ノ習慣ト、今一つハ曾テ醫術ノ發達ト藥劑  
師ノ發達トガ並行シナカッタ時代ガアリマ  
スノデ、未ダニ先程內務大臣ノ御話ノ如  
ク、藥ノ専門家ニアラザル醫師ニ藥ノ取扱  
ヲ委シ、或ハ妻女ヤ看護婦ニ命ジテ調劑セ  
シメルト云フノガ大部分デアリマス、然ル

ニ流行スル醫者ヤ、偶、基トカ、將棋トカニ  
耽溺スルヤウナ醫者ガ處方ヲ誤ラナイト云  
フコトハ何人モ保證出來ヌノデアリマス、  
誤リマスル結果ハ病氣ガ長引ク、或ハソレ  
ガ爲ニ餘病ヲ發スルトカ、或ハ甚シキニ至ッ  
テハソレガ原因トナッテ生命ヲ奪フコトモ  
ナイトハ斷言出來ナイノデアリマス、假令  
モ、斯様な場合ガアリマシテモ、是ハ多ク  
闇カラ闇ニ葬ムラレルノデアリマス、假令  
ソレガ千人ニ一人アリマシテモ、或ハ萬人  
ニ一人アリマシテモ、斯様な過失ハ看過ス  
ベカラザル重大ナ過失ナノデアリマス、斯  
ウ云フコトハ何ニ依ッテ是正シ得ルカト言  
ヘバ、是ハ藥劑師ニ依ッテ直チニ是正シ得  
ルト私ハ信ジテ居ル、官立病院ノヤウナヤ  
カマシイ所デモ、偶、處方ヲ誤ッテ、ソレガ  
藏劑師ニ依ッテ分量ガ違フトカ、或ハ甲ノ  
藥ト乙ノ藥ハ「プラス」「マイナス」ニナッテ  
效力ガナクナルトカ云フコトガ發見サレル  
ノデアリマス、私モ亦醫者カラ貰ッタ處方  
箋ヲ藥屋ニ持ッテ行キマシテ、ソレガ誤ッテ  
居ッタノヲ、藥劑師カラ醫者ニ電話ヲ掛ケ  
テ是正シテ貰ッタト云フヤウナ經驗ヲ持ッ  
テ居ルノデアリマス、而シテ一昨十年ノ遞信  
省ノ簡易保險局ノ健康相談所ノ統計ヲ見マ  
スルト、全國百九十七箇所ノ相談所デ診療

致シマシタノガ六百十一萬六千人、ソレ等ノ人々ガ處方箋ヲ貰ヒマシタ數ガ百八十萬九千通ニ達シテ居ルノデアリマス、其間圓滿ニ完全ニ診察ト投藥トガ分業的ニ行ハレテ居ルノデアリマス、現在全國ニ於キマス醫師ノ數ハ約五萬七千人ト私ハ聞及ンデ居リマスガ、更ニ齒科醫ヲ計算致シマスルト、是ガ約二萬人、ソレニ對シテ藥劑師ガ凡ソ二萬五千人アルト思フノデアリマス、

今回ノ法案デ人口十二三萬人乃至二十萬人ニ付テ一箇所ゾツ設置セラレマス、指導機關デアル保健所ニ藥劑師ヲ配置セラレマス外、ドノ箇所ニモ藥劑師ニ關聯シタ部分ガ見當ラナイノデアリマス、藥劑師ヲ極メテ冷遇シ、無視シテ居ラレル傾向ガアルト私ハ思フノデアリマス、更ニ是ハ藥劑師ノ領分ニ屬スルト思ヒマスガ、昨年中ニ外國カラ藥劑師ノ領分ニ屬スルモノガ、齒磨粉、其他調製藥香類ガ約四十五萬圓、藥材化學藥及ビ製藥ガ約千二百一十一萬圓、同調合藥品ガ約四百六萬圓、計約千五百七十二萬圓ト云フモノヲ外國カラ日本ヘ輸入サレテ居ルノデアリマス、是程ノ輸入ガサレテ居ルノデアリマスカラ、是ハ藥劑師ヲ今少シ優遇シ、國家ガ保護獎勵致シマスルト、此千五百七十二萬圓ノ昨年中ノ輸入ハ私ハ大半ハ

防ギ得ルヤウニナッテ行クト思フノデアリマス

一昨年來一度本法ノ計畫ガ發表サレマシテ以來、藥劑師會ノ方デハ劃期的ナ、而モ年々膨脹スル運命ヲ有スル此施設ニ當リマシテハ、是非トモ醫藥ト藥業トノ根本問題ヲ解決シタル上デ、實施サレタイトノ希望ヲ持ッテ居リマシテ、屢、政府ニ陳情シ、建言モシテ居ルト聞イテ居ルノデアリマス、ツイ先日モ吾々一部ノ者ニ對シテ、醫藥兼業ノ今日ノ實情ノ儘、本案ガ實施サレタノデハ、醫療ノ完璧ヲ期シ難キハ勿論、極言セバ藥劑師ノ業權ヤ職場ハ日ヲ逐ウテ狹メラレ、徒ニ壞滅ノ日ヲ俟ツノ外ハナイ、此場合假令一步デモ解決シテ、前進ノ途ヲ開イテ貰ヒタイト云フ衷情ヲ披瀝シテ懇ヘテ來タノデアリマスガ、其理義ハ極メテ正シク當然ナ主張ナノデ、私共ハ大イニ之ニ共鳴スル者デアリマスガ、ソレト同時ニ其衷情ニ至デハ洵ニ同情ニ値スルモノガアルノデアリマス、政府ハ藥劑師ヲドウ云フ風ニ取扱ハウトセラレルノデアリマスガ、茲ニ私ハ五六ノ要項ヲ列舉致シマシテ、御方針、御意思ヲ承リタイト思フノデアリマスガ、總括シテ申上デマスカラ、總括シテ御答ヲ願ヘレバ結構デアリマス

其一ハ本法ノ施行ニ當リテハ、國法ノ原則ニ示スガ如ク、醫藥分業ヲ立前トシテ、醫師、藥劑師ニハ各其職分ニ依リ、其業務責任ニ就カシムル御方針ナルヤ否ヤ

其二ハ、若シ強制分業ガ出來ナイトスレバ、藥劑師ヲシテ如何ナル形式ニ依リ、如何ナル實質ヲ有タシメ、而シテ如何ナル程度マデ本案ノ機構中ニ携ハラシメントサレル積リカ  
其三ハ、本法ノ實施ニ依リ、我國ノ醫療ハ此保險制度ニ依リ、漸次普及ヲ見ルモノト思ハレルノデアリマス、隨テ從來自由ナ立場ニ依ッテ放任サレテ居タ開業醫制度ハ、今後此體系ニ統制サレタ醫療トナッテ發展スルモノト認メラレマスルガ、此劃期的ナ醫療施設ト新體系ヲ整ヘラレントスルニ當リマシテ、藥劑師ノ業務ニ付キ政府ガ全然顧慮サレテ居ナイコトハナイト私ハ思フノデアリマスガ、若モ之ニ對シテ何等ノ考慮ガ拂ハレテ居ナイト致シマスルナラバ、一體藥劑師ト云フモノ、業務職分ヲ如何ニ見テ居ラレマスルカ、政府ハ數十年ノ長キニ亙ッテ藥劑師ヲ養成シ來リ、今日デハ約二萬五千人ニ達シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ何ノ爲ニ、何ヲ爲サシメシガ爲ニ養成サレタノデアルカ、今後如何

ニ對處セラレントスルノデアルカ、恐ラク藥劑師ヲ自然消滅ニ追込マントサレルヤウナコトハナイト思ヒマスガ、果シテドウデアルカ、其次ハ私ノ見ル所デハ、今日尙ホ全國到ル處都市ヤ僻地ノ別ナク、醫師ガ無監視ノ藥室デ、妻女ヤ看護婦ヤ、玄關子ニ調劑セシメテ、患者ニ藥ヲ與ヘテ居ルノヲ普通トシテ居ルノデアリマス、藥品ニ對シテ毫モ知識ノ無イ者ガ調劑スルコトヲ危險ガナイト思ハレテ居ルノカ否ヤ、其次ガ、更ニ政府ハ昨年此看護婦、書生ナドニ調合サスコトハ、無資格者ノ調劑トシテ藥劑師法第五條ニ依ッテ之ヲ取締ルト云フコトヲ言明セラレテ居ルノデアリマス、慥カ一昨年武知君ガ御尋ノ際ニ、政府ハ之ニ對シテ、之ヲ法律トシテ取締ルト云フコトヲ御言明ニナッタノデアリマスガ、其後ガ取締ヲ爲サレタ事實ガアルカドウカ、又其結果ハドウデアアルカ、簡單デ宜シイカラ、只今申上デマシタコトヲ總括シテ、內務大臣ノ御答辯ヲ煩シタイト存ジマス

○河原田國務大臣 醫藥分業ノ問題ハ是ハ中々重大ナ問題デアリマシテ、一朝一夕ニ政府トシテ立前ヲ決メルコトハ難カシイ問題デヤナイカト思ヒマスガ、是ハ先程私ガ申上デマシタヤウニ、一ツ十分ニ衆智ヲ集メテ

研究ヲ遂ゲタイ、ソレガ一番適當デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、各項目ニ付キマシテハソレノ細カイ問題デアリマスノデ、是ハ私ヨリモ政府委員カラ御答スル方ガ實際ニ適合スルグラウト思ヒマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○挾間政府委員 私カラ御答致シマス、只今御話ノ此國民健康保險法案トノ關係ニ付キマシテハ、何レ他ノ政府委員ヨリ御答ガアルコト、思ヒマスガ、醫師ガ藥劑ニ關スル知識ガナクシテ調劑スル、或ハ看護婦等ニ調劑セシメテ危險ガナイカト云フ御話デゴザイマス、看護婦等ガ調劑シマス場合ニ、之ヲ放任シテ認メテ居ルコトハナイノデアリマシテ、醫師ノ監督指揮ノ下ニ於テノミ是ハ認メルコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ此醫師ガ三人以上居ルヤウナ診療所、或ハ病院等ニ付キマシテハ、必ズ藥劑師ヲソコニ診療所ノ管理者トシマシテ、設置シナケレバナライヤウナ規定ニナッテ居リマス、特別ノ場合ニ於テノミ例外ヲ認メテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ最後ニ御尋ノ、醫師ノ調劑ニ付テノ危險ガアル場合ノ取締ハドウ云フヤウニシテ居ルカ、是ハ別段法規等ハ設ケテ居リマセヌガ、内務省ニ於キマスル會議等ノ際

ニ嚴重ニ指示ヲ致シマシテ、地方廳ニ於テ取締ヲ十分ニ致シテ居ルノデアリマス

○廣瀬政府委員 今回ノ國民健康保險法ノ施行ニ關聯致シマシテ、藥劑師ノ關係ニ付テ申上ゲマス、此制度ニ於キマシテハ、組合ト藥劑師ト、ソレカラオ醫者サント、其間ニ任意ニ契約ガ出來レバ、ソレハモウ分業ヲヤルノハ差支ナイ、要スルニ此制度ニ於キマシテハ、醫藥ノ全體ニ付テ、現在ノ實情ニ變化ヲ與ヘナイ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、醫師、藥劑師、ソレカラ組合ト云フ三者ノ間ニ適當ニ協定ガ出來マスレバ、任意ニスルト云フコトニ付テハ、無論差支ナイト思ッテ居リマス

○門田委員 今ノ御答辯デハ甚ダ不十分ナヤウニ思フノデアリマスガ、現在ハ藥劑師ガ少シ虐ゲラレテ居リマスヤウナ形ニナッテ居ルノデアリマス、隨テ御議論ヲ前提トシテ藥劑師ノ職分、是非職業藥劑師ノ權能ト云フモノヲ全ウサシテ戴キタイト云フコトヲ頼ンダノデアリマスガ、現在デハイカナイノデアリマス、更ニモウ一步進ンデ、現在デハ私ガ今申上ゲルヤウナ事情ニナッテ居ルノデアリマス、之ヲモウ一ツ進ンデ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、此意味デ色々ト諄々シク申シタノデアリマスルガ、

此點ダケハ特ニ内務大臣ニ於テモ御考慮ニナッテ戴キタイ、現在ノ儘デハ藥劑師ハ甚ダ困ル、從來醫藥分業ト云フコトニナルト、醫者モヤカマシク言ヒマシタケレドモ、凡ソ二萬五千人モ今藥劑師ガ居リマスガ、其人々ハ悲鳴ヲ揚ゲテ居ル、浮ブ瀬ガナイ、斯ウ云フコトニナッテ來ルノデアリマスカラ、此點ハ餘程御考ヲ願ハナケレバナラヌ、是ハ一ツ十分御考慮ヲ願ッテ、萬遺憾ナイヤウニ、私ヨリ切ニ御願シテ置キマス

最後ニ私ハ中央衛生會ノコトニ付テ、極メテ簡單ニ御伺シテ見タイト思フノデアリマス、此中央衛生會ハ、明治二十八年五月一日勅令第五十七號ヲ以テ制定セラレ、ソレカラ改正ヲ見テ今日ニ至ッテ居ルノデアリマスガ、更ニ遡リマスト、明治十二年ノ「コレラ」ノ流行ノ年カラ繼續サレテ居ルノデアリマス、其當時ニ於テハ醫學、醫術モ極メテ幼稚デアリマシテ、今日ノ想像モ及バナイ程ノモノデアッタノデアリマス、隨テ内務省ナドニハ衛生局ト云フモノハ當時無クテ、其後ニ是ハ制定サレタモノデアッテ、丁度此中央衛生會ガ母デ、衛生局ハ子ノヤウナ關係ニアルノデアリマス、此精神、此因縁ト云フモノハ、過去數年前マデ確ニ繼續サレテ居リマシタ、隨テ衛生局長ト云フモノ

ハ、常ニ中央衛生會ノ鼻息ヲ窺ハナケレバ旨ク行カナイト云フ態度ヲ執ッテ來タノデアリマス、或ハ今日ト雖モ此流レノ幾分ハ殘存シテ居ルカトモ思ヒマスガ、其邊ハ能ク存ジマセヌガ、斯様ニ思フノデアリマス、今デコソ衛生局長ハ事務官出身デアリマスガ、嘗テハ長興事齋、或ハ後藤新平氏等ノ如ク、醫師出身ノ局長ガアッテ、又一方デハ醫師デ固メマシタ中央衛生會、是ト相呼應シテ只管オ醫者サント便宜ヲ圖ッテ來タノデアリマス、偶ニ中央衛生會ガ專横デアルト云フノデ、之ヲ憤ッテ何カ言ハウトスル者ガアッテモ、事苟モ醫療衛生ニ關スル限りニ於テハ、一指モ染メ得ナカッタノガ事實ナノデアリマス、然ルニ時代ハ刻々變ッテ參リマシテ、人力車ガ自動車ニナリ、電信電話ハ有線ガ無線ニナリ、急ギノ旅ハ汽車汽船ガ飛行機ニ變ッタノデアリマス、斯ウ云フヤウナ時代ニナッテ、而モ所謂庶政一新ノ御治世ニナッタノデアリマスカラ、何時迄モ此儘ニシテ置クベキモノデハナイト私ハ思フノデアリマス、隨テ今私ガ試ミニ同會委員ノ職業ヲ調べテ見マスト、二十三名委員ガアリマス中デ、醫者ハ十三名、勿論此中ニハ官職ヲ持ッテ居ラレル方モアルノデアリマス、事務官ノ出身ノ現職ノ官吏ガハ

名、藥劑師、獸醫各一名デアリマス、更ニ臨時委員七名ノ職業ヲ調べテ見マス、藥劑師ガ四名、齒科醫師ガ二名、獸醫一名デアリマス、斯ウ云フ委員ノ割振リデ公衆衛生、獸畜衛生ニ關シ各省大臣ノ諮詢ニ應ジ、意見ヲ開申サレル制度ニナツテ居リマスガ、是ガ一方ニ偏セナイト云フコトノ保證ガ付カナイ、必ズ一方ニ偏スルノデアリマス、若シ一方ニ偏スルトソレハ不公平ト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ政府ハ勇氣ヲ出シテ、一旦之ヲ解散シテ、慎重ニ出直シテ、不公平ノナイヤウニ各種ノ異ツタ職業ノ權威ヲ集メテ、之ヲオヤリ變ヘニナルノガ當然ダト思ヒマス、之ヲ如何ニナサレルカ、此點ニ對シテ簡單デ宜シイカラ御方針ヲ內務大臣ニ御伺致シマス

○河原田國務大臣 中央衛生會ハ只今御述ベニナリマシタヤウナ永イ沿革ヲ持テ居リ、又大分功勞モアルヤウニ思ヒマスノデ、之ヲ今直チニ解散スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、御答ヲ致シ兼ねマスガ、併シ内容ナリ、人ノ割振ト云フコトニ付テハ十分考慮致シタイト思ヒマス

○門田委員 満足致シマス、是デ私ノ質問ハ終リマス

○添田委員長 此際一寸委員長ヨリ申上ゲ

マス、モウ十二時二十分ニナリマシテ休憩セネバナラスト思ヒマスガ、昨日緊急動議トシテ御決定ニナリマシタ懇談會ハ、段々時日モ切迫シテ來テ居リマスカラ、只今土屋君ノ御質問中デアリマスガ、此質問ヲ懇談會後ニ留保致シマシテ、午後一時半ヨリ兩院協議室デ開キタイト思ヒマス、別ニ御異存ハゴザイマセヌカ

○北委員 私ハ本會議デ質問シヨウト思フノデ、其時間ダト差支ガアルカト思ヒマスガ、何トカ出來マセヌカ

○添田委員長 ドウモ時間ガアリマセヌノデ——御差繰ヲ願ヒタイ

○三宅委員 懇談會ニハ賛成デアリマスケレドモ、私何トカ審議未了ニシタクナイノデ遠慮シテ居ッタノデアリマスガ、此各法案ニ付テハ私共相當ノ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、時間モ澤山取ラウト云フノデハナイガ、土屋君ノ如ク一人デ澤山取ラレマシテ、結局ニ於テ吾々ガ發言スルコトガ出來ナイ、ソレデモ懇談會等ニ於テ意見ガ纏リマスナラバ差支ナイガ、懇談會ニ於テ意見ガ纏ラズ、吾々ノ意見ガ葬ラレタノデハ、言論ノ上カラ言ッテ甚ダ残念ニ思ヒマスノデ、長イコト御願スル譯デハナイ、此處ニ居ラレマス藏原サンナドモマダヤッテ

居ラレヌノデアリマシテ、兎モ角一黨ヲ代表スル者ガマダ意見ヲ述ベテ居ラヌノデアリマスカラ、其點ニ付テハ留保シテ、ソレハ夜中ニ掛ッテモ宜シイガ、尙ホ二時間以內デ止メロトカ云フ話合ニナリマスレバ、私共二時間以內ニ止メマスシ、餘分ナ質問ヲシヨウトハ考ヘマセヌケレドモ、ドウカ一ツソレダケハヤレルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○添田委員長 マダ質問ノ御通告ハ今ノ御話ノヤウニ大分殘ッテ居リマス、是ハ懇談會ノ後ニ保留スルコトニ御願シタイト思ヒマス、ソレデ其懇談會ヲ終リ次第此委員會ヲ更ニ開クコトニ致シ、是ヲ以テ休憩致シマス

午後零時二十五分休憩

午後六時三十分開議

○添田委員長 午前ニ引續イテ開會ヲ致シマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマス、時間ヲ履行シテ始メタイト思ヒマス、御集リハ今日ノ兩院議員協議室ハ十時ニ御集リヲ願ヒタイト思ヒマス、明日尙ホ懇談會ヲ致シマス

○三善委員 一寸議事進行——開會サレルノハヤハリ此委員會デ開會サレルコトニシ

テ、サウシテ兩院協議室ニ移ラナイトイカスト思ヒマス、ドウゾサウ云フ風ニ御願致シマス

○武知委員 此處ヘ一編集ッテ開會シテ置イテ、サウシテ懇談會ニ移ル……

○添田委員長 ソレデハ今ノ宣告ハ少シ誤ッテ居リマシタ、今三善君ノ言ハレルヤウニ、一度此處ヘ十時ニ集ッテ、ソレカラ懇談會ヲ開クト云フコトニシマス、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後六時三十三分散會

昭和十二年三月十九日印刷

昭和十二年三月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社